

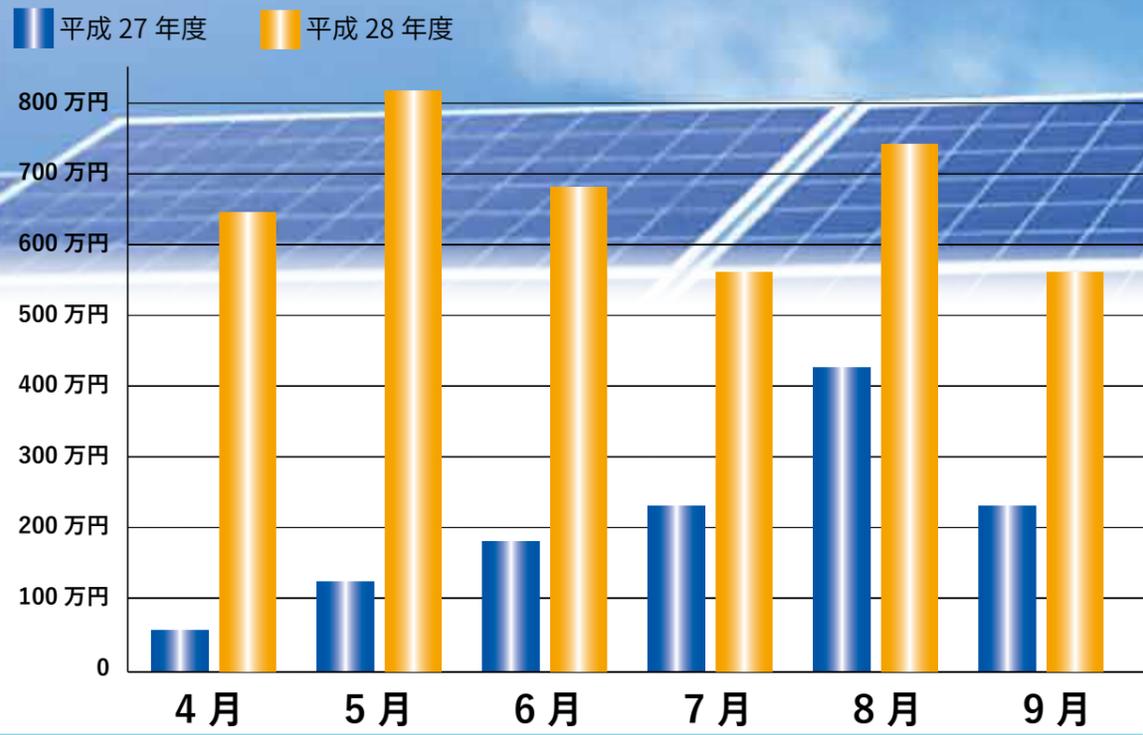
開始2年で早くも約1億円の売電収入を創出

売電総額

平成27年度 **3,525万円**

平成28年度 **6,273万円**
(4月～平成29年2月)

売上

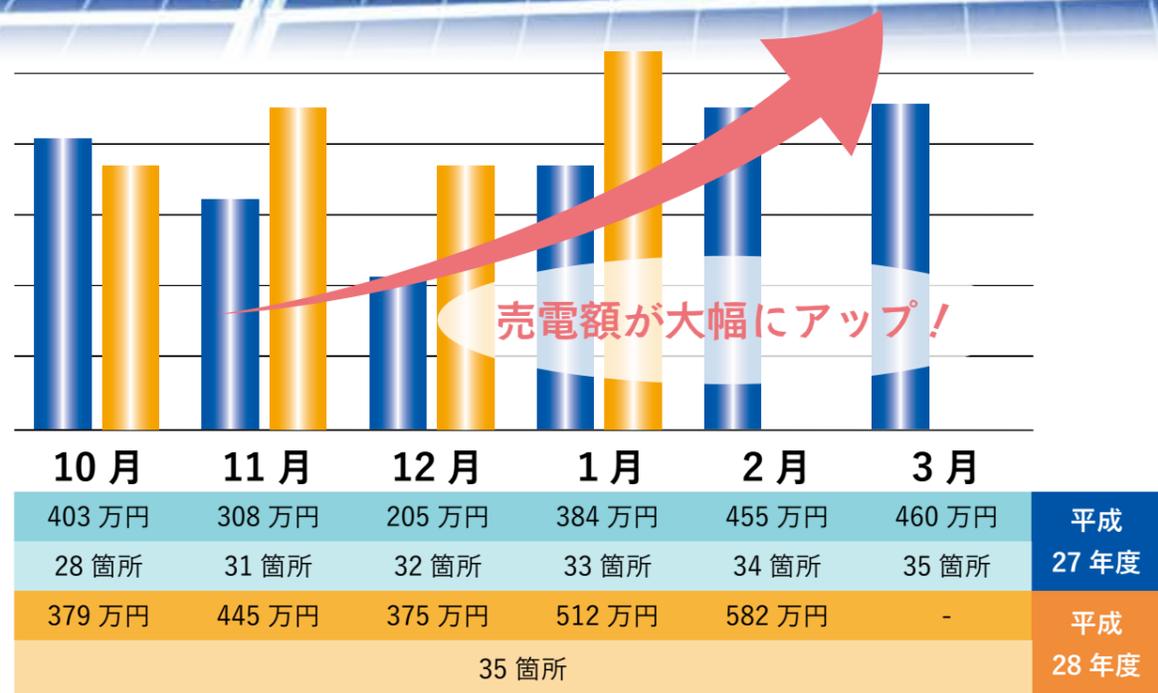


平成27年度	金額	56万円	136万円	195万円	224万円	417万円	231万円
平成27年度	設置箇所	3箇所	4箇所	11箇所	14箇所	24箇所	26箇所
平成28年度	金額	654万円	807万円	685万円	561万円	718万円	550万円
平成28年度	設置箇所	35箇所					

町の安定した財源に

茨城さかいソーラー株式会社
**太陽光発電事業で
新財源創出**

20年間で12億円の売電収入に！
うち、町が使える財源は5億円以上！



平成27年度	金額	403万円	308万円	205万円	384万円	455万円	460万円
平成27年度	設置箇所	28箇所	31箇所	32箇所	33箇所	34箇所	35箇所
平成28年度	金額	379万円	445万円	375万円	512万円	582万円	-
平成28年度	設置箇所	35箇所					

クリーンでエコな
太陽光発電を利用して
新たな財源を
生み出しています



800万円が町に寄付されました。そして、昨年3月には、町内35箇所の発電設備が全面稼働し、順調に発電を行っています。今年度は、4月から1月までの売電収入の総額が6,273万円となり、年間約7千万円ほどの売電収入を見込んでいます。町への寄付も、昨年度の800万円を大幅に上回る見通しです。

太陽光発電事業は、売電収入がおよそ20年間にわたって、安定供給されることが特徴のひとつとなっています。そして、20年間で売電収入はおよそ12億円になる計算です。

**役員はすべて無報酬
人件費は0円です！**

また、「茨城さかいソーラー株式会社」の役員は、町長、副町長を始め町議会議員の皆さんが務めています。すべて無報酬となっており、本来かかるはずの人件費を0円で運営することが可能になっています。

「ふるさと納税」「各種補助金獲得」に続く
新たな財源確保策

町では、北関東ワースト1位という厳しい財政状況の中、平成28年も県内1位の寄付額となった「ふるさと納税制度」の活用や、先月号でお伝えした、国や県からの補助金を積極的に獲得することで、新たな財源を確保し、財政改善に努めながらも、様々な事業を行っています。

さらに、平成26年8月からは、「茨城さかいソーラー株式会社」を設立し、町の公共施設の屋根や屋上、町保有の遊休地などに太陽光発電設備を設置し、クリーンでエコな太陽光発電及び売電事業を行い、新たな財源を確保しています。

**20年間にわたって
約12億円の売電収入に！**

この売電事業については、昨年度は3,525万円の売電収入があり、その内、



茨城さかいソーラー株式会社
代表取締役
橋本 正裕